

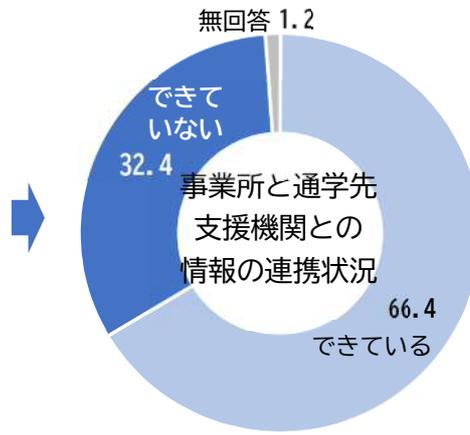
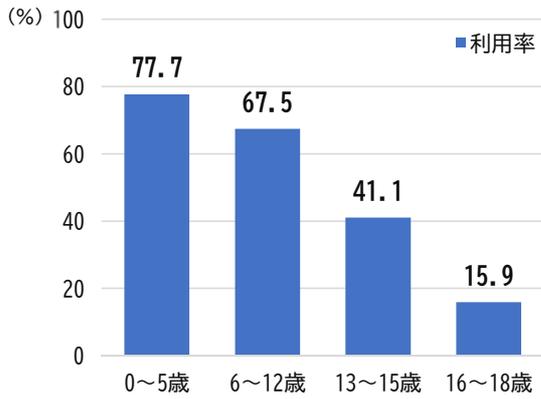
● 市民の声 ●

アンケート調査結果より

0～12歳までの障害児通所支援事業所の
利用率は6～8割と高い

利用者のうち、事業所と通学先・支援機関
との情報連携ができていない人が3割以上

《障害児通所支援事業所の利用状況》



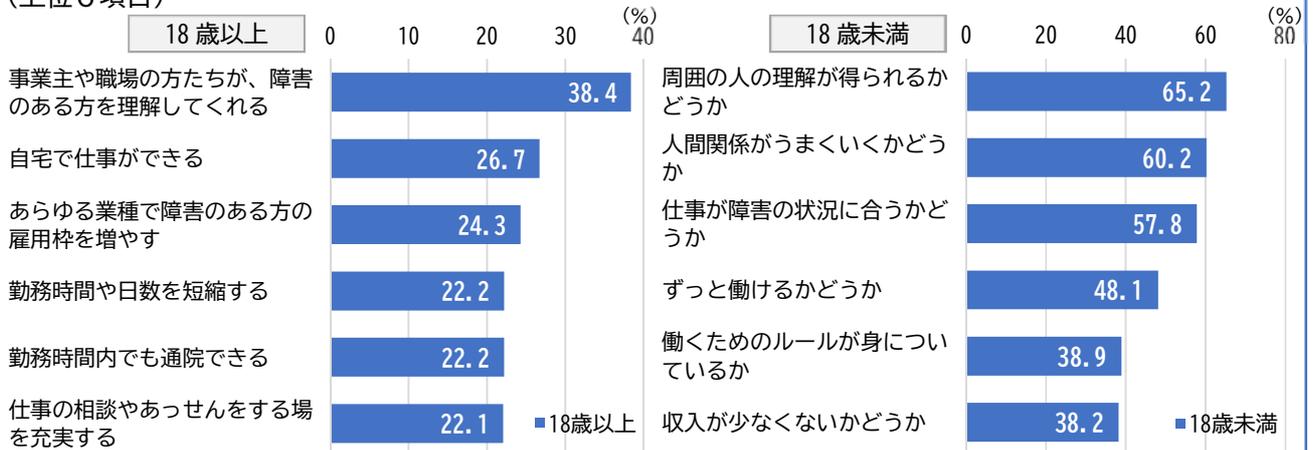
テーマ別部会等の意見より

● 市民の声 ●

アンケート調査結果より

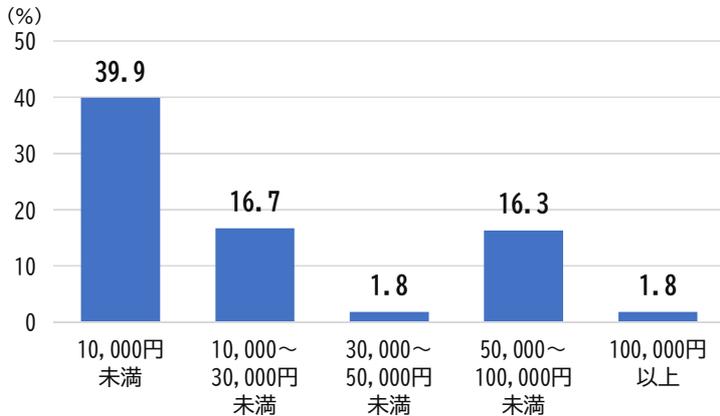
障害のある方が働きやすくなるためには、事業主や職場の方たちなどの周囲の人の理解が必要

《障害のある方が働きやすくなるために必要な条件》 《将来仕事をするとき不安なこと（上位6項目）》
（上位6項目）

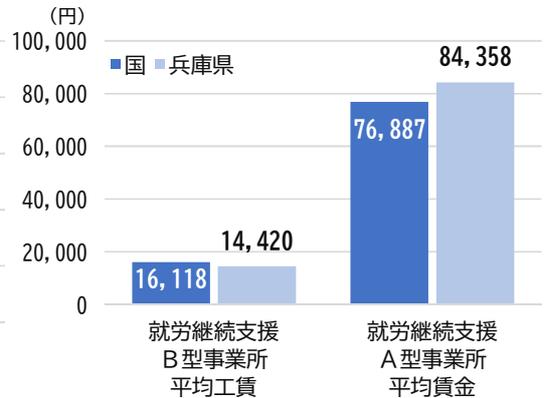


福祉就労における平均月収は「10,000円未満」が約4割

《福祉就労の平均月収》



【参考】2018年度の平均賃金・工賃

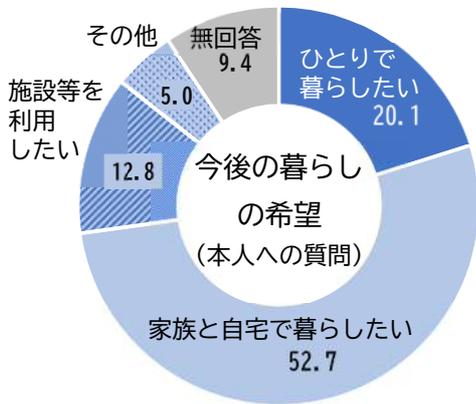


テーマ別部会等の意見より

● 市民の声 ●

アンケート調査結果より

在宅生活を望む人が多く、そのためには日常生活を支える人が必要とされている



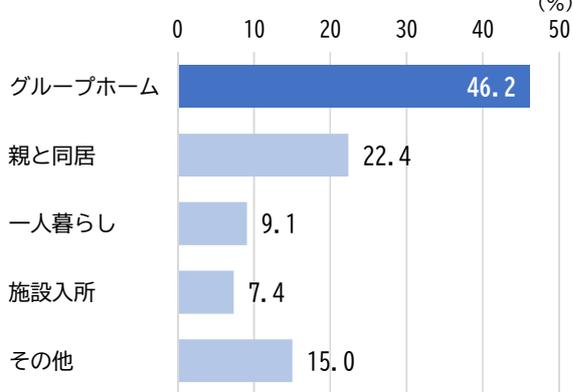
《本人にとって適している住まいで暮らすために必要なこと》
※介助者への質問



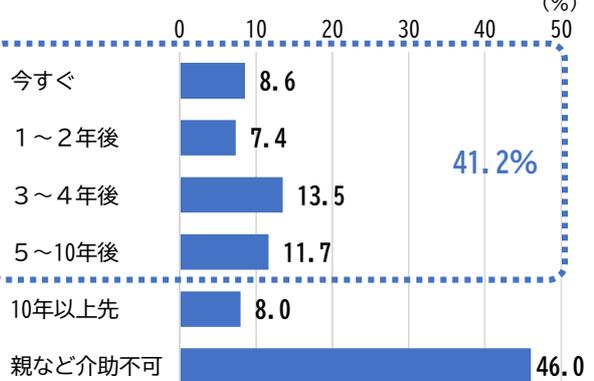
個別調査 (障害者団体アンケート) 結果より

グループホームの利用希望は4割以上、そのうち、10年以内に利用を希望する人は4割以上

《希望の住まい》



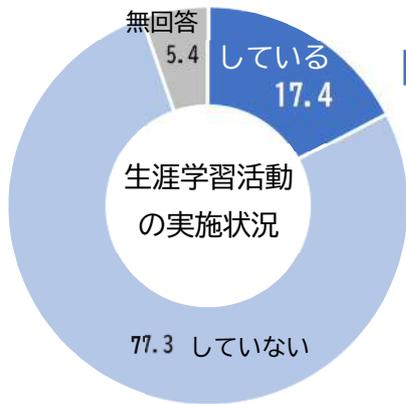
《グループホームの利用希望時期》



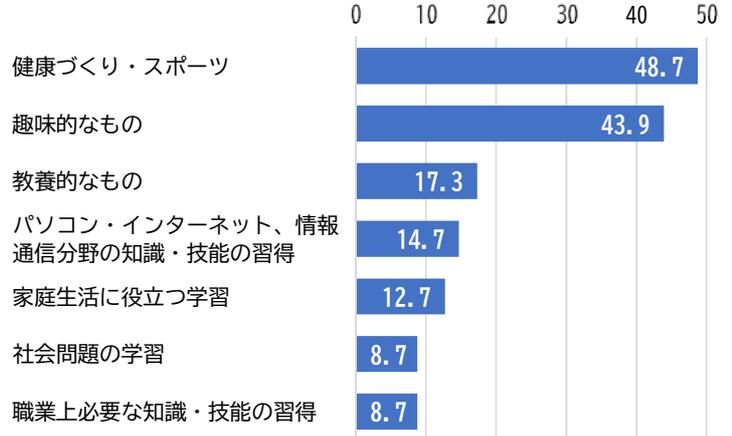
● 市民の声 ●

アンケート調査結果より

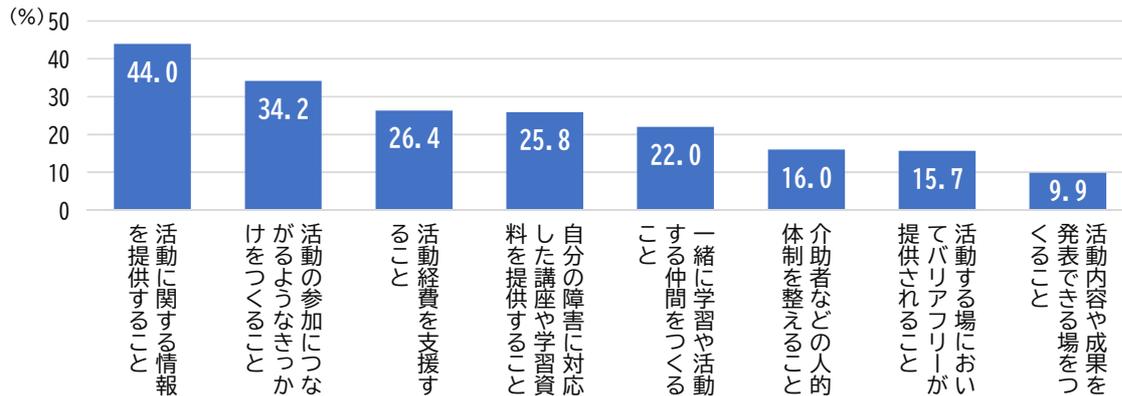
生涯学習活動を実施している人は2割弱、参加促進には情報発信ときっかけづくりが必要



《実施している生涯学習活動（上位7項目）》



《生涯学習活動を推進するために必要な支援》



テーマ別部会等の意見より